

# 令和3年産の生産目安の算定・提供と需要に応じた 米生産の推進に向けた効果的な取組への提言

## 農業活性化戦略会議

県活性化協議会においては、平成30年産からの米政策見直しを踏まえて、生産目安をはじめとする作付判断のために必要な情報提供、関係者一体となった契約栽培等の需要と直結した生産の推進を図ってきた。

そこで、農業活性化戦略会議では、令和3年産米の需要に応じた生産を推進するため、県内及び全国の作付状況や、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえながら、水田活用の方向性、生産目安の算定・提供について協議し、以下のとおり県活性化協議会に令和3年産に向けた取組を提言する。

### 1 令和3年産生産目安の算定・提供について

令和2年産の主食用米作付面積は、日本酒需要減による酒造好適米から主食用米への作付転換や、担い手の高齢化による作付減など、各地域で異なる事情が見られ、県全体では生産目安と比べてわずかに増加した。

生産目安については、生産者の作付判断の材料となることから、引き続き、全国的な主食用米の需要減少傾向と県産米への堅調な需要を考慮しながら、地域の実情を踏まえて、算定・提供すること。その際、

- ① 水田フル活用ビジョンに基づき、戦略作物、高収益作物等の維持・拡大を図る産地の取組を推進しながら、適切に算定・提供すること。
- ② 主食用米の各市町の作付実績、各地域協議会の作付意向などを調査し、地域の状況を勘案してできる限り生産目安に反映させること。
- ③ 市町別生産目安の算定に当たっては、特に、酒造好適米・加工用米産地における、高収益作物等への転換や需要の見込める範囲での主食用米等の作付を通じた農地維持の取組にも配慮すること。
- ④ 生産者の作付計画に反映できるよう、できるかぎり早期に提供すること。

## 2 県産地交付金について

- ① 県の産地交付金については、主食用米からそれ以外への作付誘導のため、担い手を中心に県下各市町で幅広く活用されており、今後も安定的・継続的な支援が必要なことから、基本的な枠組は令和2年産を維持すること。なお、産地交付金メニュー設定の際は、酒造好適米・加工用米から産地交付金の対象となる需要に応じた作物への作付転換にも配慮すること。
- ② 生産者の作付計画に反映できるよう、産地交付金メニューを早期に設定し、周知すること。
- ③ 各地域協議会の産地交付金については、地域の状況や方向性に応じた作付転換等を促していくため、各地域協議会において、関係機関と連携し、他地域の取組も参考にしながら、設定メニューを見直すよう各地域協議会に働きかけること。

## 3 需要に基づく米生産の一層の推進に向けて

- ① 実需者と直結した生産の拡大に向けて、契約栽培等出荷相談先リストの作成・提供など、業務用米等の契約栽培の取組を推進すること。
- ② 米の消費拡大の推進のため、JAグループ、「おいしいごはんを食べよう県民運動推進協議会」や「県民みんなに魅力ある兵庫米づくり推進協議会」等と連携し、県民の米消費に対する意識の向上を図ること。
- ③ 効率的に水田が活用されるよう、農地中間管理事業など各種施策を活用し、担い手への農地集積・集約を誘導すること。